

令和5年度第3回就労移行支援事業所等連絡会議
実施概要

1 目的

令和5年度において、就労移行支援事業所等連絡会議の参加者より、今後の開催テーマの希望として「就労意欲が低い利用者への支援に苦慮しており、事例検討をしたい」といった意見が複数挙げられた。

そこで、今回は「利用者の就労意欲を高めるためには」をテーマにグループワークを行い、支援手法や支援事例等を共有・検討することで、支援機関の課題解決に繋げる。

2 日時

令和6年1月24日(水)15:00~16:30

3 場所

仙台市福祉プラザ11階第1研修室(仙台市青葉区五橋2丁目12番2号)

4 対象

仙台市内の就労移行支援事業所の支援者

5 グループワークのテーマ

「利用者の就労意欲を高めるためには」

6 内容

開会あいさつ

- (1) 本日のテーマ設定の経緯とグループワークの流れについての説明
- (2) グループワーク
 - ① 自己紹介
 - ② 個人ワーク(アイデアを書き出す)
 - ③ グループ内でのアイデア発表
 - ④ アイデアのグルーピング
 - ⑤ アイデアの図解化・文章化
- (3) グループ発表
- (4) 意見交換・まとめ
- (5) 閉会

以上

第3回就労移行支援事業所連絡会議

～グループワークまとめ～

「利用者の就労意欲を高めるには」をテーマに意見交換を行いました。

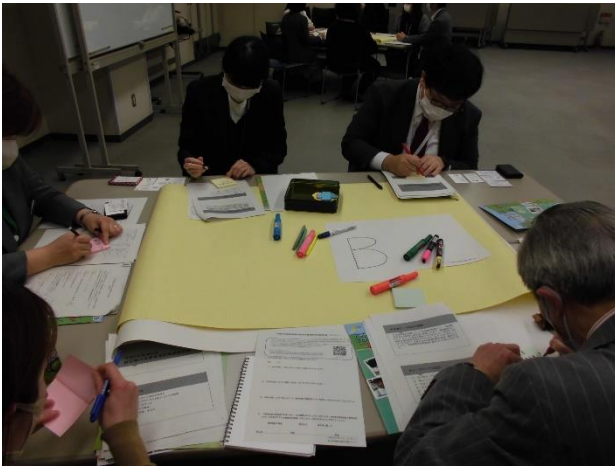
利用当初はやる気満々だったけど、途中から意欲が低下してしまった、周囲に言われたので利用を開始したなど様々な場面で就労意欲が落ちてしまった、高まらない、そもそも意欲がない方に対しての支援についてみんなで意見交換を行いました。

参加頂いた皆さんありがとうございました！

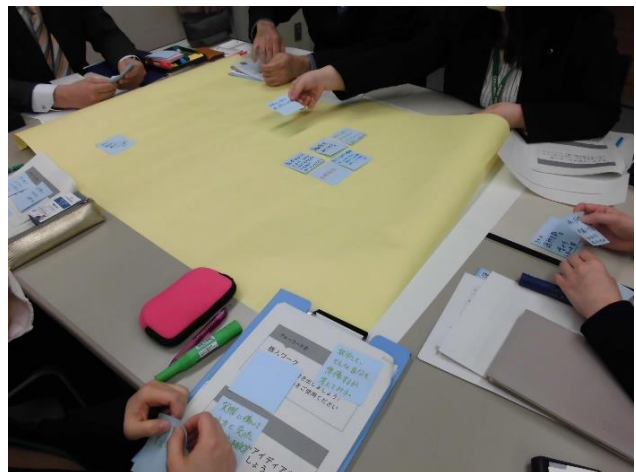
当日、皆さんに取り組んでいただいたことをご紹介します。

【グループワークの様子】

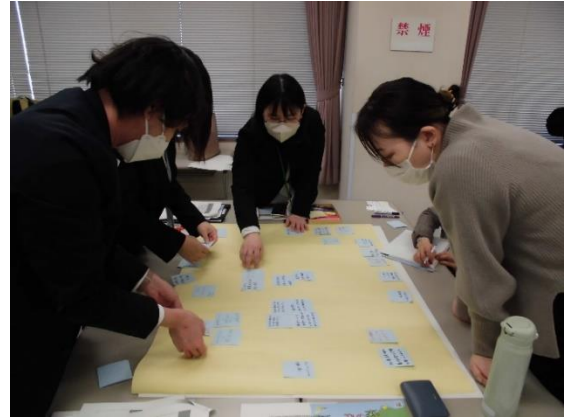
まずは、思いつくこと(実際に行っている支援やアイデア)をたくさん付箋に書く！



付箋に書いたものをグループ内で発表！



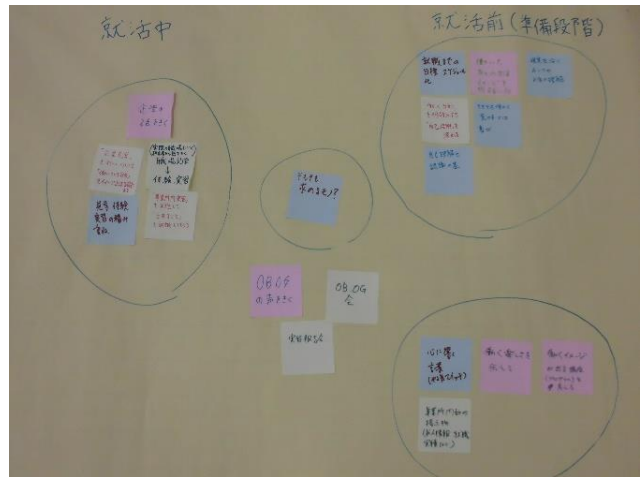
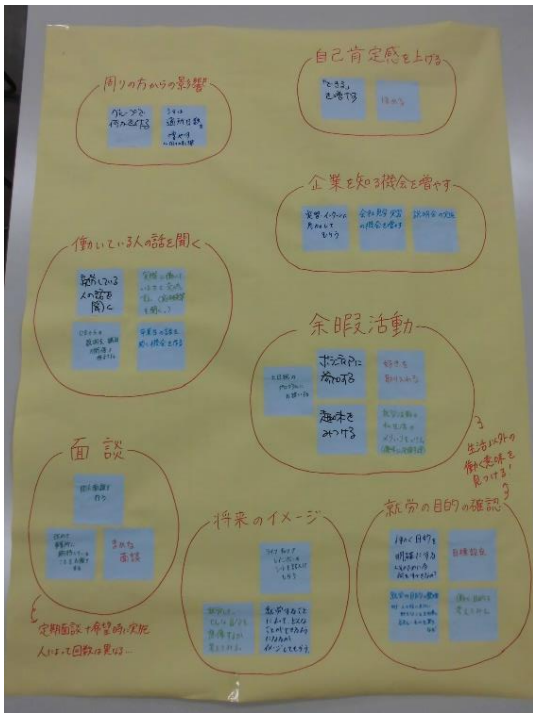
似たようなアイデアをグループ分け！



発表



グループワークから出た意見・アイデア



(まとめ)

【目標設定】

働く目的、就職するまでの目標、スケジュールを一緒に考える。

可視化する。定期的に確認し合う。目標と現状のすり合わせ

(近い将来、遠い将来について)

働くため、働いてからのモチベーションをあげるために、欲しい物、したいことなど楽しいことをイメージしてみる。それを達成するために「働くのだ！」という意識付けを高める。

働かないデメリットを想像してみる。→「だから働かなければならないのだ」という気付きに繋げる。

本人をサポートする方(家族、医療機関)からの情報収集

【自分のことを整理する】

成功体験の積み重ね

今できること、できていることの整理

できることを増やす。できたらほめる→自己肯定感を高める→自信がつく→就労意欲がわく

他の方からのインスパイア

同じ目標を持った方と一緒に活動し、他から刺激を受ける

事業所の卒業生から体験談を聴く

→「自分にもできるかも！」という気付き

→自分と比較して、できているところ、改善するところを整理

【イメージ作り】

外部との接点を作り、より働くイメージを具体化する

企業説明会・見学会・職場体験・実習、施設外就労、仙台市就労体験実習に参加する

→働くイメージをもつ。



支援をスタートするときに、なぜ移行支援事業に興味をもったかを深掘りすると、ヒントがたくさんあると思います。丁寧に聴き取りを行い、よりよい支援が開始できるとよいでしょう。

支援に答えがないからこそ、色々な人と意見交換を行って、色々な支援の仕方、取り組みを知ることで、その人に合った支援を形成していきましょう。

以上